

# 区政レポートVol17(令和5年夏号)

港区議会議員

## なかね 大 NEWS

NAKANE DAI NEWS



政治の中心に福祉を！ 一人のために、未来のために！

区議会公明党は  
皆様の声をカタチにしました！



- ◆公明党議員団 副幹事長
- ◆建設常任委員
- ◆DX推進・行財政特別委員会/副委員長
- ◆港区スポーツふれあい文化健康財団評議員

### 区立小・中学校、認可保育園等の給食費無償化が実現！

区では、2023年9月から、区立小・中学校、認可保育園や児童発達支援センター等に  
通う児童等の給食費の負担軽減を所得制限なく行い、更なる子育て支援の充実をが  
図られることとなりました。公明党議員団として2005年第3回定例会にて全額負担  
軽減を提案。近日では令和4年第3回定例会や令和3年度決算特別委員会で、また本  
年3月の区長への緊急要望でも訴えおり、長期に求め続けていたものがこのたび実現  
の運びとなりました！

### 自転車用ヘルメットの購入助成対象を拡大！

2023年4月1日から自転車に乗る際のヘルメット着  
用が努力義務化されことを受け、現在区が行っているヘル  
メット購入費用助成の対象を、13歳未満の子どもから  
全年齢に拡大することになりました！



Facebook



Instagram



Twitter



LINE



ホームページ

<https://nakane-dai.net/>



### ヤングケアラー支援が始まります！

港区は昨年9月にヤングケアラー実態調査を実施。その結果から家族の世話をしている子どもの  
多くが、自分の時間を確保できない状況を把握し、この度、訪問による家事・育児支援と定  
期的な弁当を届ける配食支援、日本語が苦手な  
親の通訳などの支援が実施となります。



### 生活困窮世帯等への物価高騰対策の給付金実現！

2023年5月末から低所得のひとり親や子育て世帯等への、子  
ども1人5万円給付が実現。また非課税世帯等に対して3万円の給付  
が7月18日から開始。さらに港区独自に世帯員1人ごとに3万円  
ずつ追加で給付されることになりました。(11月上旬予定)

### ウクライナ避難民支援の拡充！

港区ではこれまでもウクライナ避難民に対し、生活  
支援を行ってきましたが、長引く状況を鑑み、この  
度リサイクル家財の提供、日本語の習得や避難民  
の交流会、受け入れ側の地域の要望に即した支援、  
個人ボランティアへのコーディネートなどが拡充さ  
れることになりました。



## 地域の声をカタチにしました！

### 三田台公園広場の安全整備

三田台公園広場の砂が、雨で流  
れてしまい、表面に石やコンク  
リートが剥き出しになっている  
ので危ないと声をいただき、担  
当課に依頼し、砂を増量。整備  
が完了しました！



### 白金台4丁目私道上のマンホール蓋補修



白金台4丁目私道上のマンホールの蓋がガタガタして  
危険との声をいただき、担当課に依頼し、補修が完了  
しました！

### ちいばす高輪二丁目停留所のベンチ補修



都営高輪1丁目アパ  
ート前のちいばす停留所  
のベンチが壊れている  
ので直してほしいと  
声をいただき、補修い  
たしました！



本年4月の港区議会議員選挙で選出された34名の議員による初めての定例会が6月21日～30日までの10日間の日程で開催されました。その中で、なかね大が質問に挙げた内容をご紹介します。

## 防災・減災対策

### ●防災DXの促進について

Q 国が災害時の避難所のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を進める中、避難所運営にあたり、区と速やかな情報共有と実態把握ができるようDXの促進が必要と考えますが、デジタルを活用した防災への取組について区の見解は。

A 区では、避難所となる区有施設にWi-Fi環境を整備し、避難者がスマートフォンから、災害情報を収集できる環境整備にも取り組んでおります。今後もデジタル技術を積極的に取り入れてまいります。



## 子育て対策

### ●里帰り出産時の保育料免除について

Q 区では、ご家庭の事情で保育園を休園される場合は3～5歳児の給食費は事前申請によって免除されますが保育料は対象となっておりません。多子世帯を支援する観点から、里帰り出産される家庭の保育料を免除し負担軽減を図るべきと考えますがいかがでしょうか。

A 区では、今後里帰り出産に伴い休園する間の保育料については、第2子以降の子どもを安心して産み育てられるよう、子育て世帯の負担の在り方の中で総合的に検討してまいります。



## 高齢者対策

### ●セカンドライフ支援について

Q これから本格的な高齢社会を迎えるにあたり、定年退職後や子育てが一段落した中高年齢層の方々に、再就労情報やボランティアを募集している団体の情報提供などで地域参画を促し地域課題解決の担い手として活躍できる場を積極的に案内できる専門窓口や部署の設置が必要と考えますがいかがでしょうか。

A 区では、今後高齢者の学びの機会や余暇活動、ボランティア、就労などの情報を高齢者地域活動情報サイトで一元化して発信するなど、支援窓口を強化し、高齢者の知識や技術等を地域の課題解決に積極的に活用してまいります。

## <議会活動>



(6/22 特別委員会副委員長に就任)

2023年度は、建設常任委員、DX推進・行財政等対策特別委員会副委員長に就任。地域の課題解決に向け全力で頑張っております！



## 活動報告

## <地域行事に参加>



7月10日、赤羽小学校新校舎・赤羽幼稚園園舎の落成記念式典に参列しました。また、5月28日には地元町会の高輪北町親和会のバスツアーに参加。7月4日には、地元老人クラブの親交クラブの10周年祝賀会にお招きいただき、地域の皆さまと交流を深めさせていただきました。

## <現地視察>



(5/25 神心学童クラブを視察)



(6/9 麻布保育園を視察)

学童クラブの待機児童の状況や、紙おむつのサブスクリプション事業が開始された状況などをヒアリングするため現地視察に。

